

令和元年度経営セミナー

受講のご案内



続・現場力の維持と強化

～生産性向上・働き方改革・経営品質～

…現場にて経営・技術の改善…

基調テーマのもと経営、技術、働き方について全8講座の研修開催

主催 長野県中小企業団体中央会
長野県中小企業労働問題協議会
後援 長野県
公益財団法人長野県テクノ財団
令和元年度 中小企業連携組織支援事業

基調テーマ：「**続・現場力の維持と強化 ～生産性向上・働き方改革・経営品質～**」

●カリキュラム

開催月	テーマ	講師	内容	開催地	日時・会場
9月	長野県工業技術総合センターによるAI・IoT導入支援	長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門 ご担当者 様	長野県工業技術総合センターは、県内製造業の発展に寄与するための試験研究機関として、技術的な課題の解決を支援している。分析評価などの依頼試験、設備の利用、職員・外部専門家による現場技術相談、共同研究や受託研究、研究員派遣技術開発支援事業など様々な支援メニューを用意している。AI活用/IoTデバイス事業化・開発センターは、本年4月に松本市にある環境・情報技術部門の敷地内にオープンした。長野県の「長野県ものづくり産業振興戦略プラン(計画期間:2018～2022年度)」に基づき、企業のIoT導入支援、エネルギー消費等の工場内のデータ収集技術、データ解析のためのAI技術の研究開発等による、AI・IoT技術の普及を目的としている。 本講座では、長野県工業技術総合センター、特に環境・情報技術部門の概要、AIやIoTに関連した事業や支援事例をいくつか紹介する。あわせてAI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを中心とした施設見学を行う。	松本市	9月19日(木) 午後1時30分～ 長野県工業技術総合センター 環境・情報技術部門
10月	日本一の高齢者雇用企業の「働き方改革」	株式会社加藤製作所 代表取締役 加藤 景司 様	同社は、1888年に創業し、家庭電気器具部品、自動車部品、騒音防止機器、航空機部品の製造等を事業として行っており、プレス加工でもっとも難しいとされる絞り加工において、深絞りという高度な技術を有している。また、同社の大きな特徴としては、高齢者雇用の割合の高さが挙げられる。60歳以上のシルバー社員の割合は、全社員中の約半分を占めており、それらの人材の活用によって生産の効率化を実現している。さらに、同社は「人財」を育成するための社員教育を最重要の経営方針に位置付け、経営計画書をテキストに用い、会社が今後進むべき方向性について全従業員で共有化することを目的とした社内研修「駒場村塾」や、従業員の技能向上・技能伝承を目的とし、社内その道のプロが工匠として後輩に技術指導を行う「かじや学校」等、独自の社内教育を通じ、社員の育成を行っている。 本講座では、同社の人材活用・人材育成に関する取り組みについて研修する。	岐阜県 中津川市	10月8日(火) 午後1時30分～ (株)加藤製作所・本社
11月	ジット魂による人財育成で夢の実現経営	ジット株式会社 代表取締役 石坂 正人 様	同社は1991年にOA機器の組み立て下請け会社として創業。1999年にインクジェットプリンターの使用済みカートリッジを再利用した「リサイクルインク」を世界で初めて製造し発売した。インクカートリッジのビジネスモデルは「セル生産方式」の導入による生産性向上で、高い品質評価とシェアNo.1を獲得しており、インクカートリッジ回収網の構築により、限りある資源の有効活用と年間約1,567トンのCO ₂ 削減に貢献している。また、ジットの念(おも)いである「創業の精神」、『経営理念』を始め、組織としてのありたい姿を『ジット魂』という冊子にまとめ上げ、企業は人なりの精神の下、社員やパートナー、地域社会を巻き込んだ人間力の向上の取り組み、人財育成の取り組みは特筆しています。そしてまた、「NPO法人たいよう」、「にこにこキッズ保育園」などの先進的な取り組みは、地域一帯となった労働環境を高める事例として注目されている。2018年日本経営品質賞 経営革新奨励賞受賞企業 ※本講座は、長野県経営品質協議会ベンチマーキングと共催となります。	山梨県 南アルプス市	11月13日(水) 午後1時30分～ ジット(株)・本社
12月・1月	想いを包み、未来を創造するパートナーを目指す	株式会社吉村 ご担当者 様	同社は1932年に祝儀用品の加工販売業として品川で創業し、その半世紀を超える歴史においては、日本茶を主とする食品包装資材の企画製造販売を一貫して行うメーカーとして、茶袋づくりの歴史を牽引している。経営理念である「想いを包み、未来を創造するパートナーを目指します」を具体化するための一つとして、失敗と喜びを分かち合う仕事場づくりを実践し、経営計画書と経営計画発表会、全員参加会議、ES(社員満足度)調査、誰でも発信できる起案制度であるノーベル起業と壁新聞、イチオン投票、ダイバーシティなど、多種多様な経営手法を取り入れている。これらの取り組みは、「日本で大切にしたい会社大賞 中小企業基盤整備機構理事長賞」や「新・ダイバーシティ経営100選」などを受賞で注目を浴びている。本講座では、このような同社の経営手法について研修する。 ※本講座は、他団体(事業者)と合同にて実施される場合もございます。	静岡県 焼津市	12月・1月 午後1時～ (株)吉村・静岡工場
1月・2月	高い技術力で世界品質を実現～研究開発・人材育成の取り組み～	夏目光学株式会社 取締役専務 管理本部長 本田 英則 様	同社は1947年にメッキ事業で創業。その後レンズ加工へと業種転換し、現在では自社ブランド「Mf Lens(エムエフ・レンズ)」として多種多様なレンズの生産を行っている。同社の製造するレンズは、複雑かつ高精度であり世界品質を実現し、その種類は年間数千点以上に及ぶ。これらの製品は半導体製造装置や通信機器、医療機器、OA・FA機器、自動車などの輸送関連機器から航空機・宇宙関連まで、幅広い分野で利用されている。顧客の高度な要求をカタチにするため、2005年にテクノロジーセンターを開設し研究開発を強化し、大学との共同研究にも力を入れている。また、平均年齢38歳と若い社員への人材教育に力を入れ、OJTと合わせて階層別教育やジョブローテーションを行い、全社的なレベルアップに取り組んでいる。 本講座では、高い技術力で世界品質を実現するための研究開発や人材育成の同社の取り組みについて研修する。	飯田市	1月・2月 午後1時30分～ 夏目光学(株)・本社
1月・2月・3月	ロボティクス化による高精度・多品種・小ロットの生産体制の実現	赤羽工機有限会社 取締役会長 中島 芳郎 様 代表取締役社長 中島 高史 様	同社は1968年に創業し、半導体製造装置や自動車部品向けなどの精密機械金属部品加工を得意としている。工場では、人手不足や海外との価格競争に対応するために独自の自動化ラインを内製により構築し、高精度による多品種・小ロットの生産を実現している。大量生産のための自動化ではなく、短納期・小ロットロボットを社内で組付けすることや、工場の機械装置に用いられるソフトウェア、売上・財務管理などのソフトウェアは会長自らが作成することでデータ連係ができています。自社に必要な自動化ライン、ソフトウェアを内製化することで独自技術の発揮と高い生産性を同時に実現している。また、技術力を高めるため、OJTを通じた社員教育にも力を入れ、長野県工業技術総合センターと装置の共同開発を行い、加工精度や生産性の向上に繋げている。平成29年には、経済産業省の「地域未来牽引企業」に認定されている。同社の今までの自動化への取り組みや今後の展望、自動化に向けて企業が最初にすべきことについて研修する。	塩尻市	1月・2月・3月 午後1時30分～ 赤羽工機(有)・本社
	2社 交渉中		基調テーマをもとに2社と交渉中。決定次第、お申し込み企業にはお知らせします。 最新情報については中央会 南信事務所 飯田分室までお問い合わせください。 TEL:0265-24-7088		

※ 上記研修先様には内諾をいただいておりますがご事情により開催日・研修先様に変更となる場合もございますので、予めご了承ください。

※ 上記研修先様のご事情により受講者数に定員制を設けさせていただく場合もございます。その際は各回申し込みの先着順となりますので、予めご了承ください。

※ 上記研修先様のご事情により、講座によっては競合他社等となりえる受講希望者様の参加をお断りさせていただく場合もございます。

開 催 要 項

開催にあたって

「令和」が幕を開けた。政府の景気判断は、輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復しているとし、好景気が続いているという判断をまだ崩していません。しかし、足もとでエスカレートしてきている米中貿易戦争は、当事国のみならず世界経済全体にとって大きなリスクであり、日本経済の各種統計は明らかな息切れを示し始めました。

また、労働力不足を背景に入管難民法が改正され、外国人労働者の新たな在留資格が創設されるなど時代の変革期を迎え、生産性向上の促進、成長分野への展開など、持続可能な新たな時代に向けた取り組みが必要とされます。

このような中、時代に対応した生産現場とするため、最新デジタルツール（IoT、AI、ロボットなど）の導入による生産性向上、重要な経営資源である人材が不足する中で幅広い年齢層（シルバーなど）の人材活用、製品のみならず経営全体の品質を高める活動を行うことで持続的な企業の存続を目指す動きがあります。

今年度は、昨年度に引き続き、将来に向けて強い生産現場を目指すことを中心テーマとした全8回の講座を開催し、参加される皆様の生産技術の向上と経営資源の強化に役立てることを目的としています。

開催方法

表示しました全8講座に年間会員登録をいただき、各講座の詳細を逐次ご案内します。講座毎のお申し込みはできませんのでご了承ください。

各講座の出欠はご随意です。

申し込み・問い合わせ先

◎長野県中小企業団体中央会 <http://www.alps.or.jp>

- | | | |
|--------|------------------|------------------|
| ・連携支援部 | TEL(026)228-1171 | FAX(026)228-1184 |
| ・東信事務所 | TEL(0268)24-1788 | FAX(0268)25-3258 |
| ・中信事務所 | TEL(0263)32-0477 | FAX(0263)32-7299 |
| ・南信事務所 | TEL(0266)78-4030 | FAX(0266)58-6670 |
| 飯田分室 | TEL(0265)24-7088 | FAX(0265)24-5734 |

申し込み締め切り

令和元年8月29日（木）